

成果報告書

- ・研究会：吉井弘和研究会
- ・タイトル：特別研究プロジェクトB（社会課題解決ワークショップ）
- ・合宿期間：3月13日 - 3月15日（最終レポート提出3月24日）

【概要】

本プロジェクトは、スタートアップ企業を通じて社会課題の解決策を模索する実践型ワークショップである。ESG系ベンチャーキャピタルの協力のもと、起業アイデア創出および既存ベンチャー企業の課題解決を目指した。参加者は、実際の社会問題を解決する力を養い、社会変革の一翼を担うことを目標とした。期間は3月13日から3月15日の3日間、SBCに宿泊する形で行った。

【プロジェクト実施背景】

社会課題は多岐にわたり、その解決には行政だけではなく、民間企業やNPO等、多方面からのアプローチが求められる。本プロジェクトでは、特にスタートアップ企業を対象として、柔軟な発想と迅速な行動力を活かした解決策の提案を行った。

【プロジェクト実施プロセス】

オリエンテーション: ESG系VCからの講義を含む、プロジェクトの概要説明。

グループワーク: 課題解決のアイデアをグループ内で討議し、解決策を検討。

中間発表: グループワークで検討した解決策の発表とフィードバック。

最終発表: 改善を加えた解決策の発表と、最終的なフィードバック。

【実施成果】

本プロジェクトを通じて、プロジェクト参加者は社会課題に対する深い理解と、それらを解決するための実践的な知識・スキルを習得した。特に、在宅医療サービスに関する課題に着目したグループからは、地方での医師不足や女性医師の活用について、具体的な解決策が提案された。これにより、在宅医療の質の向上と効率化を目指す新たなビジネスモデルの在り方が考察された。新規ビジネスプランのグループの活動では、藤沢市を対象とした高齢者の生涯学習に関する新規ビジネスの考察が行われた。

【総括】

このプロジェクトは、参加者にとって社会課題解決のための実践的な学びの場となった。また、スタートアップ企業としての社会貢献の形を具体的に模索する良い機会となった。本プロジェクトの活動により、参加メンバーはインタビュー能力の向上や、短期間で成果を出すためのグループワークの在り方など実践的な学びが得られた。今後もこのようなプロジェクトを通じて、社会変革を推進していくことが期待される。